

# うなぎ 鰻だより



第4号

## 12月のできごと



12月7日(土)・8日(日)

☆うなぎまつり☆

お天気にも恵まれ、2日間ともにたくさんの方にご来場いただきました！お蔭さまで各会場大盛況でした。スメ広場で行われたスメ体験では、寄付していただいた食材を使ってたくさんの方にスメの魅力を伝えることができました。寄付してくださったうなぎ温泉まつまえさん、まつまえ温泉の常連客の方、久保農園さん、ファームランド豊さん、田畑さん、尾下の協力隊員の神野さん、ありがとうございました。

12月26日(木)

☆山川高校スメ体験プログラム☆



山川高校生がスメ体験のお手伝いをするスメ体験プログラム。他にも地元野菜の販売、鰹節削り体験、茶節やお茶のふるまいもありました。生徒さんが考えたスタンプラリーや謎解き、西郷さんの服(レプリカ)の試着もでき、「楽しい」「美味しい」内容が盛りだくさんでした。高校生の皆さんのてきばきとした行動、おもてなしをする姿もとても素晴らしかったです。

## 1月のできごと

1月15日(水)・16日(木)

☆ウナツメイ☆

鰻地区には、火山性の噴気孔がいくつもあり、通称「地獄」と呼ばれています。1月15日と16日は、「地獄の釜の蓋が開く」と言われ、亡くなった人の霊が自由になる日とされているそうです。この日に行われる鰻の地蔵堂参りが「ウナツメイ（鰻参り）」です。ウナツメイをすると、この1年間に亡くなった人に会うことができると言われており（『指宿まるごと博物館ガイドブック』参照）、今年もたくさんの参拝者が訪れ、地蔵堂にお供え物をしたり、線香を供えて手を合わせたりしていました。

実は、これまで管理されていた方だけではウナツメイの運営をすることが困難となり、今年はお手伝いとして有志で集まった住民やボランティアの方々が事前準備や焚き火の番をしていました。協力隊員も事前準備を手伝ったり、ボランティアの補助をしたりしながらウナツメイを視察させていただきました。

参拝者の方々から「やっぱり焚き火がないとウナツメイじゃないよ。」「今年もお参りに来れて嬉しい。また来年だね。」などたくさん声が聞こえてきました。参拝される地元の方々にとってとても大切な伝統行事であり、多くの方が「続けてほしい」と願っているのだと思います。しかし、全国各地で課題になっている伝統行事を受け継いでいく難しさを鰻地区も同様に抱えており、今後のウナツメイの存続について考え直さないといけない時期にきていると感じました。力を貸してくださった方々の存在があってこそ実施できた今年のウナツメイ。ボランティアの皆様、本当にお疲れさまでした。



山川支所地域振興課総務係  
鹿児島県指宿市山川新生町 35 番地

TEL：0993 - 34 - 1111

執筆：地域おこし協力隊 柳田